

## 第2回都市計画 審議会開催

11月4日、小野町役場において、平成17年度第2回小野町都市計画審議会（榎田忠夫会長）が開催されました。

審議会では、はじめに榎田会長のあいさつのおと、六戸町長より榎田会長へ諮問書が提出されました。

諮問内容については、『田村東部都市計画公園（小野運動公園）の変更について（県知事決定）』です。



榎田会長より答申をいただきました

公園へのアクセス性の向上を図るため、町道七生根線に隣接している一部区域を廃止し、高齢社会の多様なニーズに対応するため、屋外ゲートボール場西側の区域を拡大し、駐車場等の整備を実施するものです。（別添計画図のとおり）

審議会では、諮問のあった議案について、事務局より変更スケジュール、当該変更に至った経過や変更理由及びその概要等について説明を行い、審議した結果、当該変更は公園利用者の利便性を向上するものであり、当審議会の意見は適切である」と榎田会長より六戸町長へ答申がなされました。

今後は、県審議会の答申を受けた後、告示等の都市計画手続きが進められる予定です。

## 右支夏井川河川改修 谷津作地区地権者会 で先例地視察研修

11月17日、右支夏井川河川改修谷津作地区地権者会先例地視察研修が実施されました。

研修は、右支夏井川河川改修事業の建設促進を図る上で地権者会の調査研究の一助とするた

め実施されたもので、今回は二本松市の六角川を視察しました。六角川は、二本松市二伊滝を源に発し、駅前を中心市街地を貫流して阿武隈川にそそぐ約3・75kmの一級河川です。

現況河川は川幅が狭く、市街地を取り囲む山々から急激に水が集まるため、比較的小規模な降雨でも浸水被害が発生してきました。過去には昭和49年の集中豪雨や昭和57年の台風18号で大きな被害をもたらし、平成11年の台風16号では70戸もの浸水被害が発生しました。中でも二本松駅前周辺の被害が甚だしく、早急な治水対策が求められ、平成14年度に「床上浸水対策特別緊急事業」の採択を受け、おおむね5カ年の計画で整備が進められているものです。

六角川の改修に併せて駅前広場整備などのまちづくりと一体となった親水空間整備及び歩行者回遊空間の創出に取り組んでおり、現地においてその実施状況を研修しました。

福島県東北建設事務所六角川床上浸水対策室、二本松市六角川整備室より事業実施上の課題として、用地買収や住民との合意形成、事業にあたって苦慮した点等について説明を受け、参加された地権者の皆さんは熱心に研修していました。

今後は、この研修の成果をいかし、地権者の皆さんと町が一体となって、同事業の促進と調査研究を進めてまいります。

今年度から二本松市市街地の2120mが、新たに「ふるさと川整備計画対象区間」として指定されたもので、河川本来の自然環境の保全・創出や周辺環境との調和を図りつつ、地域整備と一体となった河川改修を行い、良好な水辺空間の形成が図られることとなります。



二本松市の六角川

小野運動公園は、昭和54年1月に都市計画決定（県決定）し、町民体育館や野球場、多目的グラウンド、ゲートボール場等の整備を図り、これまで多くの町内外の方々に利用されてきました。当該地域最大の運動公園です。

その変更の内容については、当町でもゲートボールやグラウンドゴルフといった運動種目利用者が増加傾向にあることから、公園利用者の利便性、安全性及び